

「 岐阜県発日本一、世界一 ～ 1 2 月 ～ 」

スポーツ健康課 スポーツ振興担当

その1大会、競技会名 (主催者名)	成 績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第15回アジア競技大会/ ドーハ2006 水泳 女子50m平泳ぎ	第4位	H18.12.2	三輪 芳美 (早稲田大)	県岐阜商高卒	三輪は、予選2組1位で決勝に進んだ。決勝では早稲田大の後輩北川に先行を許し、第4位のゴールとなった。 (カターン: ドーハ ハド・アクアティック・センター)
水泳 女子100m平泳ぎ	第7位	H18.12.5	三輪 芳美 (早稲田大)	県岐阜商高卒	予選3組に出場した三輪は、前半から飛ばして50mをトップで折り返したが、後半遅れて3位で通過した。風邪気味で体調不十分のまま臨んだ決勝では、力泳及ばず7位にとどまった。 (カターン: ドーハ ハド・アクアティック・センター)
水泳 女子200m平泳ぎ	第8位	H18.12.6	三輪 芳美 (早稲田大)	県岐阜商高卒	100m平泳ぎ決勝の翌日というハードな試合日程である。予選8番目のタイムで決勝に進んだ三輪は、体調不良と蓄積疲労を回復できず、本来のスケールの大きい泳ぎを披露することなく最下位でゴールした。 (カターン: ドーハ ハド・アクアティック・センター)
ボート 女子軽量級ダブルスカル	第2位	H18.12.6	若井 江利 (早稲田大) 岩本	加茂高卒	レースは5連覇を狙う中国をマークして、若井・岩本ペアが前半飛び出す理想的な展開となった。しかし、中盤に伏兵のウズベキスタンがトップに立ち、そのまま逃げ切った。若井・岩本はペア必死に追い上げたが、わずかに及ばず2位となった。 (カターン: ドーハ ウェスト・ベイ・ラグーン)
ボウリング 男子チーム戦	優 勝	H18.12.6	高橋 俊彦 (ACグランド) 武本 山下 佐々木 伊藤		1チーム5人が2日間で6ゲームを投げて競う種目。前半を6位で折り返した日本は、後半奮起して攻め続け、5ゲーム目で首位の韓国を捉えて逆転し、見事金メダルを獲得した。(カターン: ドーハ カタル・ボウリング・センター)
ボウリング 男子マスターズ個人戦	第8位	H18.12.8	高橋 俊彦 (ACグランド)		「マスターズ個人戦」は、4種目の総合得点上位16人が参加し2日間で16ゲームを投げる種目。高橋は3,603点をマークしたが、8位となり決勝進出を逃した。 (カターン: ドーハ カタル・ボウリング・センター)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第15回アジア競技大会 / ドーハ2006 野球	第2位	H18.12.7	長谷部 康平 (愛知工業大) 佐伯 尚治 (西濃運輸)	関市出身	6カ国によるリーグ戦が実施された。日本チームは順調に勝利を重ね、4戦全勝同士で台湾と対戦した。シーズンゲームの熱戦となったが、9回裏に連打を浴びて7対8でサヨナラ負けし、銀メダルを獲得した。 (カタル:ドーハ アル・ラヤン・ベ-スボール・アンド・ソフトボール ベニユ-)
陸上競技 男子 1500m	第5位	H18.12.10	小林 史和 (NTN)	中京商高卒 (現中京高校)	予選(8日)を1組3着で通過した小林は、決勝では健闘したが次第に先頭集団から離され、4秒差の5位でゴールした。(カタル:ドーハ カリハ・スタジアム)
フェンシング 男子 サブール 個人	第5位	H18.12.10	長良 将司 (県職員・大垣南高)		初戦から好調の長良は、準々決勝まで勝ち上がったが、対戦相手の王(中国)が長身で攻め切れず、15-10で敗れ5位となった。(カタル:ドーハ アル・アラビ・インド・アール)
陸上競技 男子 1600mリレー	第4位	H18.12.12	向井 裕紀弘 (県ES事業団) 堀籠 金丸 成迫		予選がなく、決勝1レースが実施された。第1走者の堀籠から次走者の金丸へのバトンミスにより、前半でリードを広げる作戦に失敗した日本チームは、「あせり」から走りに力みが見られ、向井・成迫ともに後半スピードが低下して4位となった。(カタル:ドーハ カリハ・スタジアム)
フェンシング 男子 サブール 団体	第3位	H18.12.13	長良 将司 (県職員・大垣南高) 渡部 山本		日本チームは準々決勝でクウェートを45-38で倒し、韓国との準決勝に臨んだ。2番手の山本が奮起して1ポイント差まで追い上げたが、力及ばず逃げ切られ3位となった。 (カタル:ドーハ アル・アラビ・インド・アール)
フェンシング 女子 エペ 団体	第3位	H18.12.13	武山 佳恵 (ワセダクラブ) 池端 成田	大垣南高卒	45-36でカザフスタンとの準々決勝を制した日本チームは、準決勝で韓国に45-33と圧倒され3位にとどまった。 (カタル:ドーハ アル・アラビ・インド・アール)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第15回アジア競技大会/ ドーハ2006 空手 男子組手 75kg級	第2位	H18.12.13	松久 功 (エヌケーシー)	岐南工高卒	松久は決勝まで順当に勝ちあがったが、決勝では迷いから慎重になりすぎて、対戦相手のモダビシユカエイ(クウェート)を攻め切れず3-2で惜敗し、2位となった。 (カタール:ドーハ カタルスポーツクラブ・インドアホール)
ホッケー 女子	第2位	H18.12.13	三浦恵子・寺園理恵 木村千恵・千葉香織 山本由佳理 (以上ソニーEMCS(株)一宮テック) 中川未由希 (東海女子大)		ここまで日本チームは5勝1分けの成績で、中国との決勝対決となった。決勝戦は双方得点が入らず、接戦となったが、後半中国が1点をあげ、1-0で日本を下した。この結果、日本は北京オリンピックの出場権を獲得した。 (カタール:ドーハ アルヤン・ホッケーフィールド)
ホッケー 男子	第4位	H18.12.14	伊藤 満 (名古屋ワール)	可児工高卒	準決勝で優勝した韓国に敗れて、3位決定戦に回った日本チームは、パキスタンに2-4で敗れて4位となった。この結果、日本は北京オリンピックの出場権を逃し、平成20年に日本(各務原市)で開催される最終選考会に北京オリンピックの出場を賭けることになった。(カタール:ドーハ アルヤン・ホッケーフィールド)
新体操 国際大会 HAPPY CUP 団体 国別対抗	第3位	H18.12.1~ 2	浅井 美彩登 浅野 みわ (シニア) 清水 花菜 (ジュニア) (NPOぎふクラブ)		大会は世界28ヶ国の出場で開催された。国別対抗は16歳以上のシニア2名、15歳以下のジュニア1名が4種目を演技し、シニアの高得点者1名とジュニア1名の合計得点で競われる。日本代表として出場したNPOぎふクラブは、浅井と清水が落ち着いた演技で高得点を挙げ、ロシア、ブルガリアに次ぐ第3位入賞を果たした。 (ベルギー:ゲント スポーツアリーナ)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
新体操 国際大会 HAPPY CUP ジュニア個人総合	第5位	H18.12.1~2	清水 花菜 (NPOぎふクラブ)		清水はジュニアの部で各種目に安定した演技を披露し、個人総合の部において5位に入賞した。 (ベルギー：ゲント スポーツアリーナ)
ジュニア個人種目別 リボン	第2位	H18.12.3	清水 花菜 (NPOぎふクラブ)		種目別競技は、前日までに実施された個人総合の部の上位9名が参加できる。清水は巧みにリボンを操り、本大会チーム最上位となる、2位に入賞した。 (ベルギー：ゲント スポーツアリーナ)
ジュニア個人種目別 ロープ	第4位	H18.12.3	清水 花菜 (NPOぎふクラブ)		種目別競技は、前日までに実施された個人総合の部の上位9名が参加できる。ロープにおいても清水はよく健闘し、第4位となった。(ベルギー：ゲント スポーツアリーナ)
ジュニア個人種目別 クラブ	第4位	H18.12.3	清水 花菜 (NPOぎふクラブ)		種目別競技は、前日までに実施された個人総合の部の上位9名が参加できる。クラブにおいても清水はよく健闘し、第4位となった。(ベルギー：ゲント スポーツアリーナ)
第32回内閣総理大臣杯 平成18年度全日本大学 レスリング選手権大会 フリースタイル66kg級	第2位	H18.12.21	増田 和将 (中京学院大)		66kg級は各大学から1名ずつの28名が参加して行われた。増田選手は1回戦から3試合で圧勝して決勝に進出したが、対戦相手の佐藤選手(早稲田大)に1-6で敗れて第2位となった。佐藤選手は4連覇を達成した。 (東京都：駒沢体育館)
第67回全日本女子ホッケー 選手権大会	優勝	H18.12.24	ソニー宮		ソニー宮チームは前半から押し気味に試合を進めたが、得点にはつながらなかった。後半、木村のPCから1点を奪うと、続いて三浦もPCを決めリードを広げた。終了間際に南都銀行が1点を奪い返したがそのまま逃げ切り、2年ぶり9度目の優勝を果たした。 (奈良県：天理市 新里ホッケー場)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月 日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第9回世界アーチェリー 室内選手権大会最終選考会 男子コンパウンドの部	優勝	H18.12.24	山田 彰 (トーカイ)		好調の山田は、一日目に586点を挙げた。最終日も堅実に実力を発揮して576点をマークし、2位に9点の大差をつけ初優勝した。これは、自己の持つ室内60射の日本記録を更新する快挙である。山田は、3月にトルコで行われる世界選手権の出場権を獲得した。(東京都：駒沢公園)
第59回全日本フェンシング 選手権大会 男子エペ個人	第3位	H18.12.22	伊藤 祐樹 (朝日大)		11月に全日本学生フェンシング選手権大会男子エペで2連覇を達成した伊藤は、自信を持って大会に臨んだ。順調に勝ちあがったが、準決勝で社会人の野口(自衛隊)に15-12で敗れて3位となった。(秋田県：北秋田市合川体育館)
男子サーブル個人	第2位	H18.12.25	長良 将司 (岐阜クラブ)		第15回アジア競技大会日本代表の長良は、大会スケジュールが過密の中、準決勝で下田(警視庁)を15-10で倒して決勝に進出した。両者互角の戦いを繰り広げたが、小川(日田市役所)に14-15のスコアで惜敗し、第2位となった。 (秋田県：北秋田市合川体育館)
男子サーブル団体	第3位	H18.12.25	岐阜クラブ		岐阜クラブは、警視庁と準決勝で対戦して36-45敗れた。3位決定戦では中央大学を45-30で下し第3位が確定した。尚、警視庁は決勝で日田市役所を倒して、2年ぶり36度目の優勝を遂げた。(秋田県：北秋田市合川体育館)
女子サーブル個人	第2位	H18.12.25	中山 セイラ (大垣共立銀行)		準決勝で吹原(中京大)を15-5と圧倒した中山は、決勝で久枝(大阪市信用金庫)と対戦し、8-15で敗れて第2位となった。 (秋田県：北秋田市合川体育館)
第37回全国高校バスケット ボール選抜優勝大会 女子	第2位	H18.12.29	岐阜女子高		準々決勝で、優勝候補の桜花(愛知)を接戦の末80-76で倒した岐阜女子高は、準決勝でも倉敷翠松(岡山)を、70-69の逆転で退けて決勝戦に進出した。古豪の中村学園女子との決勝では善戦及ばず 53-69で敗れて第2位となった。県勢の決勝進出は男子の岐阜農林の1978年以来、女子では初の快挙である。 (東京都：東京体育館)

大会、競技会名 (主催者名)	成 績	入賞年月 日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第2回全国高校ホッケーチャンピオンズカップ 女子	第2位	H18.12.29	岐阜各務野高		<p>岐阜各務野高は決勝で、宿敵の伊吹(滋賀県)と対戦した。開始早々に先制を許す苦しい展開となり、前半終了間際にも加点された。後半も守備に回る時間が多く、試合のリズムをつかめないまま終了し、0-2のスコアで敗れて第2位となった。</p> <p>(岐阜県：各務原市 県グリーンスタジアム)</p>